

オーシャンズカップ 2026 大会の見どころ

今年の「OWS オーシャンズカップ 2026」は、9月にアルゼンチン・サンタフェで開催される「2026年世界ジュニア選手権」の日本代表選考を兼ねた重要な一戦となります。

男女別・年齢区分ごとの選考最大人数枠は以下の通りです。

【14～15歳】	5km	2011年1月1日～2012年12月31日	生まれ	男子1名、女子1名
【16～17歳】	7.5km	2009年1月1日～2010年12月31日	生まれ	男子2名、女子2名
【18～19歳】	10km	2007年1月1日～2008年12月31日	生まれ	男子2名、女子2名

今回はパンパシフィック選手権代表メンバーが遠征のため不出場となり、新世代の飛躍が期待される大会となりそうです。

男子 10km

男子 10km は、昨年世界選手権代表の高木陸（近畿大）を筆頭に、経験豊富な渡辺雅空（SAGA SSP）、岩住宏一郎（日本体育大）らがレースを引っ張る存在となりそうです。

また、選考対象選手では、競泳で既にパンパシフィック代表に選出されている今福和志（枚方 SS）がどのようなレースをするか注目です。

代表選手不在の今大会では、誰がどのタイミングで仕掛けるのかにも注目が集まります。特にレースが動き始める5周目以降の中盤戦は大きな見どころとなりそうです。

男子 7.5km

男子 7.5km では、昨年 OWS 日本選手権 5 位でジュニア代表の中川太芯（枚方 SS）が中心選手となりそうです。2 枠目争いは大混戦。誰が代表権を獲得してもおかしくありません。また、選考では順位だけでなく先頭との差も重要となるため、中川との差をいかに抑えるかが代表入りのカギを握ります。

男子 5km

男子 5km には幅広い年齢層から約 50 名が出場予定。先述の 10km 注目選手に加え、昨年日本選手権 5km5 位の武井律己（日本大）らもレースの中心となりそうです。

選考対象選手の多くは主要大会初参戦。実力差も拮抗しているため、いかに戦略を立て、経験豊富な選手たちについていけるかが代表権獲得のポイントとなります。

女子 10km

女子 10km は、昨年の日本選手権 10km で表彰台争いを繰り広げた奥園心咲（枚方 SS）、谷清美（新潟医療福祉大）、小島光丘（中京大）、梶本幸花（枚方 SS）が中心となりそうです。

代表権争いでは梶本幸花が一歩リードしているものの、2 枠目争いは混戦模様。上位陣にどこまで食らいつき、離されずにレースを進められるか。また優勝争いでは、どれだけ攻めたレース展開を作れるかが勝負の分かれ目となりそうです。

女子 7.5km

女子 7.5km は非常に熾烈な代表争いとなりそうです。2 年前に世界ジュニア代表権を争った菅七海（東京 SC）、水谷紗也（中京大 中京高）、昨年 OWS 日本選手権 5km3 位の権田三実（東京 SC）による三つ巴の争いが予想されます。

実力も非常に拮抗しており、スタートからフィニッシュまで目が離せないレース展開となりそうです。

女子 5km

女子 5km も男子同様、10km 注目選手に加え、オーシャンズカップで表彰台経験を持つ松崎りん（早稲田大）がレースを引っ張る存在となりそうです。こちらにも主要大会初出場の選手が多く、レース展開や戦略が勝敗を大きく左右するレースとなりそうです。

OWS オーシャンズカップ 2026 の観戦は、一部選手専用エリアなど立入禁止区域はありますが、会場となる館山北条海岸には観覧可能なフリースペースが多数あります。

特におすすめなのが、選手たちが周回ごとに間近を泳ぐ棧橋エリア。トップ選手たちのハイスピードな泳ぎを間近で観覧することができます。

トップ選手たちによるハイスピードな泳ぎと、駆け引きが繰り広げられる熱戦にぜひご注目ください。皆様のご来場をお待ちしております。

【日時】 6月21日（日） ※ただし、荒天が予想される場合は、6月20日（土）に実施

7:30 10km／7.5km 男子 競技スタート

7:35 10km／7.5km 女子 競技スタート

11:00 2.5km／ 5km 男子 競技スタート

11:05 2.5km／ 5km 女子 競技スタート

【会場】 千葉県館山市 北条海岸 （JR 館山駅西口より徒歩 5 分）

YouTube にてライブ配信も実施予定です。

東京オリンピック マラソンスイミング女子日本代表・貴田裕美さんが解説予定です。

選手選考についての詳細は下記よりご確認ください。

https://aquatics.or.jp/fwp/wp-content/uploads/2026/04/2026年度-OWS国際大会代表選手選考方法_HP用.pdf